



一橋大学



Global  
COE  
Hi-Stat

大震災から  
の  
復興を考える

一橋大学経済研究所  
北村行伸

公開討論会：TKP大手町カンファランス  
センター

2011年5月26日

# 大震災からの復興に向けて

- 現在国会では復興基本法を審議しており、来月末には政府の復興構想会議の答申が出ることになっている。日経の経済教室をはじめ、新聞・雑誌・TV・インターネットなど各メディアで復興に向けての考え方、論点が提示されている。
- 本日の公開討論会では、一橋大学でこの問題に取り組んでいる経済学者が集まり、震災復興に対して、新しい視点を提供し、既存の議論に批判を加え、あるいは議論を補強し、今後の政策立案に寄与することを企画している。

# 震災復興のビジョン

- 阪神淡路大震災、東日本大震災の経験を経て明らかになった震災復興のビジョンとは何か？
- 復興の優先順位をつけるとすれば、どのような項目をどのような順位で解決していけばいいのだろうか？
- 被災者生活再建のために具体的にはどのような政策・法律が必要だろうか？
- 国民連帯による復興は具体的にどのようにして可能になるのだろうか？

# 震災と財源を巡る今後の課題

- 現在の日本は地震活動が活発化している時期に入っていると考えられるが、その地震リスクを人為的に制御する方法はあるのか？
- 地震保険の効用と限界について明らかにしてほしい。
- 地震に強い都市、町とはどのように定義できるのか？
- どのような組織でリスク制御に従事すべきか？政府や自民党が議論している復興再生院ではだめなのか？

# 大震災後の経済政策の方向性

- 大震災後のマクロ経済政策としてどのような論点があるのだろうか？
- 長期的な成長制約要因とは何か？
- 大震災によってデフレ傾向は変化したのか？金融政策としては何が有効か？
- 開放経済下での適切なマクロ政策ミックスとは何か？
- 拡大する政府債務に対してどう対処すればいいのか？

# 復興に向けた8カ条の提言

- 震災の経済効果や復興の課題はどのように要約できるのか？
- 復興と構造改革は結びつくものなのか？もしそうであるとすれば、どのような仕組みが必要か？
- 復興財源のあり方として財政学上どのように考えられるのか？
- 地方財政との関連で、今回の大震災からの復興をどのように生かせばいいのだろうか？
- 復興に向けた具体的な政策提言にまとめると？

# 震災前から震災後の復興を考える

- 関東大震災後の経済政策の評価とそこから得られる教訓は何か？
- 震災以前にあった被災地の現状および将来像が震災によってどう変化したのか？
- 具体的に、石巻の現状をどう評価し、将来をどう考えればいいのか？
- 震災後の復興計画において重視すべき論点とは何か？

# 地震大国日本としての心構え

- 阪神・淡路大震災から今回の東日本大震災まで16年、関東大震災から88年を経ている。東京に直下型地震がいつ来ても不思議ではない。
- 我々は大震災後の復興を語りながら、実は今後直面する次の大震災に対する対処法を考え、リスクの分散を考えなければならない状況にある。
- 今回の大震災の教訓は山積していると思うし、今後研究者が地道に検証していくべき問題もある。現時点で、どのような事象や問題から教訓を学べるだろうか？

# 震災復興と将来の日本

- 今回の復興を、戦後復興や阪神淡路大震災からの復興、あるいは過去の三陸沖地震・津波からの復興に重ねて議論されることが多いが、それぞれの規模や被害の程度、社会経済状況、国際環境なども違っている。
- 今回の復興は、今後の日本をどうしたいのか、どうなると考えるのが適切かという判断と不可分である。それは被災地域の問題に限定されないだろう。
- 常に地震リスクと向き合わなければならない日本列島で国民に安心と安全を保障しつつ、明るい活力をみなぎらせるにはどうすればいいのだろうか？